

教授会議事録

日時：平成16年10月12日（火）午後3時05分～午後5時10分

出席者：伊藤所長（議長）他教授20名、助教授15名

議事に先立ち、議長から、新任教員等の紹介及び人事異動報告があった。

議事録の確認

平成16年9月7日開催の定例教授会議事録について、原案のとおり了承された。

I. 報告事項

1. 学内諸会議等報告

(1) 所長

① 部局長連絡会議

議長から諸会議HPを確認願いたい旨の発言の後に、以下の関連部分について報告があった。

- ・ 大学機関別認証評価委員会について
- ・ 概算要求について
- ・ 総長補佐体制について
- ・ 学友会の組織について

② 財務・人事戦略企画会議

- ・ 教員の人件費について
- ・ 効率化係数について

(2) その他

① 学生生活協議会

- ・ 委員の役割の引き継ぎを行ったこと。

② 高等研究基盤技術センター設置構想委員会

- ・ 各部局からの案を紹介した後に、第一及び第二専門委員会を設置し検討を進めること。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画戦略室

- ・ 国際ワークショップを開催していること。（室田教授主催、10/12, 13）
- ・ 大阪大学産業科学研究所との研究交流会を12月22日（水）に大阪大学を会場に開催すること。
- ・ 宮城県産業技術総合センターとの包括協定に基づき、同センター及び（社）みやぎ工業会、（財）仙台市産業振興事業団との技術交流会について12月中旬を目途に日程調整を進めていること。
- ・ 競争的資金への方策として、研究グループを組んでの科研費の応募（〆切10月21日）について、協力願いたいこと。

(2) 安全衛生委員会及び安全衛生管理室

- ・ 労働災害発生時の対処マニュアルを作成中であること。
- ・ 大学の法人化に伴い、局所排気装置及び放射線装置について、労働基準監督署に届出が必要となったので調査していること。
- ・ 産業医が所内を巡視し、安全に関する点検報告を作るので、各研究室においては、指摘された点を踏まえ整理整頓に努めていただきたいこと。

(3) 総務委員会

- ・ 報告事項なし

(4) 予算委員会

- ・報告事項なし
- (5) 環境委員会
 - ・報告事項なし
- (6) 情報デバイス研究部門
 - ・報告事項なし
- (7) ブロードバンド工学研究部門
 - ・報告事項なし
- (8) 人間情報システム研究部門
 - ・報告事項なし
- (9) システム・ソフトウェア研究部門
 - ・報告事項なし
- (10) ナノ・スピン実験施設
 - ・式典についての御礼
 - ・施設の運営について、設備機器が研究活動を開始できるレベルになり、機器使用料金等について、暫定的な使用案を作成中であり、10月26日開催の運営委員会で検討すること。
 - ・実験施設に係る維持費の平成17年度概算要求について
 - ・薬品庫が竣工し、地域住民に対する見学会を行ったこと。(9/24)
- (11) ブレインウェア実験施設
 - ・報告事項なし
- (12) IT-21センター
 - ・運営委員会を開催する予定であること。
- (13) 通研将来計画委員会
 - ・キャンパス整備計画に係る概算要求の経緯について、大学本部から説明を受けていること。
- (14) 学部教務委員会

配付資料に基づき特に下記の点について報告があった。

 - ・平成17年度授業計画(案)がほぼ固まっていること。
 - ・学籍の異動に関して、留学した学生が1ヶ月で帰国し復学したことをふまえ、留学前の指導を強化する必要があること。
 - ・研究室配属のマッチングについて、前年度の反省を踏まえて改善策を議論していること。
早期卒業辞退者について対応していること。
これに関連し研究室の見学を、青葉山は11月7日(日)、通研は11月15日(月)に実施すること。
 - ・平成17年度カリキュラム編成について、退職予定教員と新任教員との間でカリキュラムの調整を始めること。
 - ・過年度生について就学指導を実施したが、各研究室においても過年度生の修学ケアを特にお願いしたいこと。これに関連し後期修学指導の対象者についても、各研究室において指導をお願いしたいこと。
 - ・工場見学について、学部教務委員会で意義を見直すこととしたこと及び学部授業の延長として実施していることから3年生のうちに見学させたい意向であるので、各研究室においても協力願いたいこと。
 - ・Webページについて、議論を進めていること。
 - ・TOEFL-IPTの実施について
 - ・平成17年度工学セミナーグループ編成について(案)を作成したこと。
 - ・平成16年度後期学生実験担当者について、青葉山と通研の負担比率が2:1であることを踏まえて現在通研の負担が多いことから青葉山でチェックしていること。

(15) 百年史部局史編纂委員会及びWG

- ・各部署の進捗状況及び体制について、説明があった。
- ・校正アシスタントを6ヶ月間(9/29)雇用したこと。
- ・各研究分野史の原稿がほぼ集まったので校正作業に入ること及び、未だ提出していない研究室が1件あるのでご協力願いたいこと。

(16) 通研公開実行委員会

- ・片平まつり2004及び通研公開が10/10, 11に各位の協力により盛会に終了したこと。また、反省点等を整理し、来年度以降の委員に引き継ぐこと。なお、これに関連して、議長から3, 200名を超える来場者があった旨の発言があった。

3.その他

- (1) 議長から、9月10日の通研改組並びにナノ・スピコン総合研究棟竣工記念式典が、各位の協力により盛会に終了したことに対し御礼があった。併せて、事務部長から、配付資料に基づき、本式典に係る決算報告があった。

- (2) 議長から、配付資料に基づき以下について報告があった。

- ①研究所等研究生の退学について
- ②研究員等の受け入れについて
- ③通研フェローの称号付与について
- ④共同研究の受け入れについて
- ⑤職員の受賞等については今後教授会で紹介したいこと。受賞した場合は事務に連絡願いたいこと。

- (3) 経理課長から、配付資料に基づき下記の報告があった。

- ①奨学寄附金及び受託研究の受入れについて
- ②盗難事件の報告及び再発防止策について

II. 協議事項

1. 研究支援者の任用について

議長及び担当教授から、配付資料に基づき説明があり、承認された。

2. 委員会等委員について

議長から説明があり、承認された。

3. その他

特になし

III. その他

1. その他

(1) その他

経理課長から、現在の物品の購入システムは、10月1日から問題点の見直しを行い効率化を図ったため順調に稼働しているが、Webによる購入依頼処理のシステムを導入するについては種々の問題が多いため、通研としては全学の状況を見極めた上で対応することとし、現段階では、Webによる購入依頼処理のためのシステムは導入しない旨の発言があった。